

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第39号 平成23年11月10日

初回哲のタイムリー 裕太の満塁弾で留め！

達今期最高のピッチング！

	1	2	3	4	5	6	7	R
P	0	0	0	0	0	0	0	0
G	4	5	0	2	0	0	×	11



11/10日(土)2012KSCプレーオフを岸根公園野球場にて、PIOLAXと戦った。昨年のKSC決勝では苦汁をなめただけに、ここは、決勝へ向かう為にもきっちり勝利する必要があった。また、個人成績争いでも、達脇に勝利投手をプレゼントし、最多勝奪取にも近づきたい事から、尚更負ける事は許されないゲーム。そんな達脇の立ち上がりは、いつものボールからの入りでは無く、ストライク先行で、カウントを有利にする内容で幕を開けた。結局初回は不運な死球があったが、結果は三者三振に転る上々の発進となった。続く二回には、先頭を失策で出塁を許したが、今度は女房役@梶原がきっちり二塁で盗塁を阻止し、達を援護した。この回走者を二塁まで進めたが、最後はこの回も三振で占めた。三回には三塁まで走者を出したが、四球を出さない投球が守備の乱れを誘わず、最後は内野ゴロに転り、またもやこの回も0封。そして、マウンドを降りた4回も三人をきっちり抑え、今期一の内容でマウンドを降りた。そんな投手を援護する打線だが、今日は機能した。初回先頭のたかあきが、粘って四球を選択し出塁、その後二盗を決め、捕手からの送球エラーの間に、一挙三塁まで進塁した。続く打者は三振で倒れたが、今日三番に入った哲也が、二球目を綺麗に振り抜き、三塁線への安打を放ち、三塁まで走者を進めたが、最後の一本を許さず、二回を0封とし、こちらも上々の出来でマウンドを降りた。4回の攻撃では、未だ安打の無い浅沼が、奇襲なセーフティバントを決め出塁、その後PBで二塁へ進塁、次打者が四球で出塁、この場面に達が、こちらもきっちりタイムリーで1点追加。更には、相手投手の牽制エラーで二点を追加し、今日のゲームを決めた。更には、最終回にマウンドに上がった政司も、きっちり13球で三人を斬り、連携完封勝利を手にした。そして、達は、KSC3勝目を挙げ、ハーフライの首位に躍り出た。

さて、今日のゲームを振り返ってみると、やはり投手の四球が無ければ、守備の乱れが一つ有っても、点には繋がらない。また、その逆もしかり。という事は、やはり、守備でゲームの流れを掴むという事が、如何に重要な事か！という事が実感・体感出来たゲームであったと思う。

また、打ち上げ花火も無かっただけに、今日のバットマンは、チームに徹したのでは無いか、とも感じた。

ましてや、振ってダメなら、当てて塁に出て、次の打者に託す、という発想は自身を感じられている事にも繋がる、と感じたし、点が取れずに緊迫した場面ではきっとベンチを盛り上げる行為でも有ると感じた。ただ、今日は成功したが、精度も問題だが・・・

最後に次節は、いよいよKSC決勝、このままの勢いで二年ぶり三回目の優勝を目指しましょう！